【経営理念】

人として生きるための基礎を培う重要な乳幼児期に、一人一人がよりよく生きる力を身につけることができる。

【保育目標】

- ☆ 様々なことに心を動かし、心豊かな乳幼児を育成する保育の展開
- ◆ 資質向上をめざし、意欲的に経営に参画する職員の育成
- ◎ 保護者から信頼され、地域に根ざした保育所づくり

【目指す子ども像】

- ☆丈夫な体を持った子ども ☆仲間を大切にできる子ども ☆のびのびと表現する子ども
- ☆人の話を聞き、自分の思いをはっきり言える子ども
- ☆好奇心や探究心を持つ子ども

保育目標を達成するための重点目標と具体的な方策

☆ 様々なことに心を動かし、心豊かな乳幼児を育成する保育の展開

1. 乳幼児期にふさわしい生活や遊びの充実を目指す

- ①子どもたち自身が好奇心や探究心を持って主体的に環境に働きかけて遊べるよう、子ども一人一人の発達に即した環境構成や援助を行う。
- ②自分のやりたいことを実現する中で、健康で安全な生活をつくり出す力を培う。
- ③基本的な生活習慣の確立を目指す。

2. 友達や周りの人たちと関わる活動を通して、人と関わる力を育てる

- ①友達や保育者、地域の人たちと関わる機会を多くとり入れ、人と関わる力を育てる。
- ②友達と協同する体験を通して、人の話を聞いたり、自分の思いを伝える力を培うとともに、人を思いやる心を育てる。
- ③友達と様々な体験を重ねる中で自分の気持ちを調整したり、ルールを守ったりする力を育てる。

3. 豊かな心情を持つ乳幼児の育成を図る

- ①様々な人や物、自然と関わる中で、感じた子どもたちの感動を受け止め、それらを子どもたちと共有することにより、子どもたちの豊かな感性を育てる保育を行う。
- ②生活経験や発達に応じて、子どもたちが様々な表現を楽しみ、表現する意欲を十分に発揮することができる環境構成や援助を行う。

◆ 資質向上をめざし、意欲的に経営に参画する職員の育成

1 乳幼児の姿を見取り、確かな成長を促す指導の工夫を図る

- ・学習会を開催し共通課題に向けて職員で協力していく。
- ・子ども一人一人の特性に応じた指導が出来るようになるため、各クラスや年齢の職員同士が子どもの発達課題を共有し、日々のねらいに合わせ、伝え合いながら保育に臨む。

2 励まし、協力し、高め合う職場環境をつくる

- ・職員相互のコミュニケーションを図り円滑な人間関係を築く。

◎ 保護者から信頼され、地域に根ざした保育所づくり

1 保護者や地域に開かれた保育づくりに努め、信頼される保育所を作る。

- ・保護者と共に研修をする。
- ・1日保育者体験を実施する。
- ・子どもの育ちや保育への理解を深める機会を作り、家庭との連携を強化し子どもの健やかな成長を支援する。

- ・関係機関との連携を生かし、園と家庭、地域社会がそれぞれの力を十分に発揮しあって乳幼児の育成にあたるような方策を保育所がリードして進める。